取扱説明書
個別什器

◆ 安全で快適に、ご使用頂く為に必ずご覧下さい

◆ 本書は、いつでも活用出来る様に大切に保管して下さい

製造元：株式会社プラックス

什器取扱ご担当の方へお願い

はじめに必ずお読み下さい

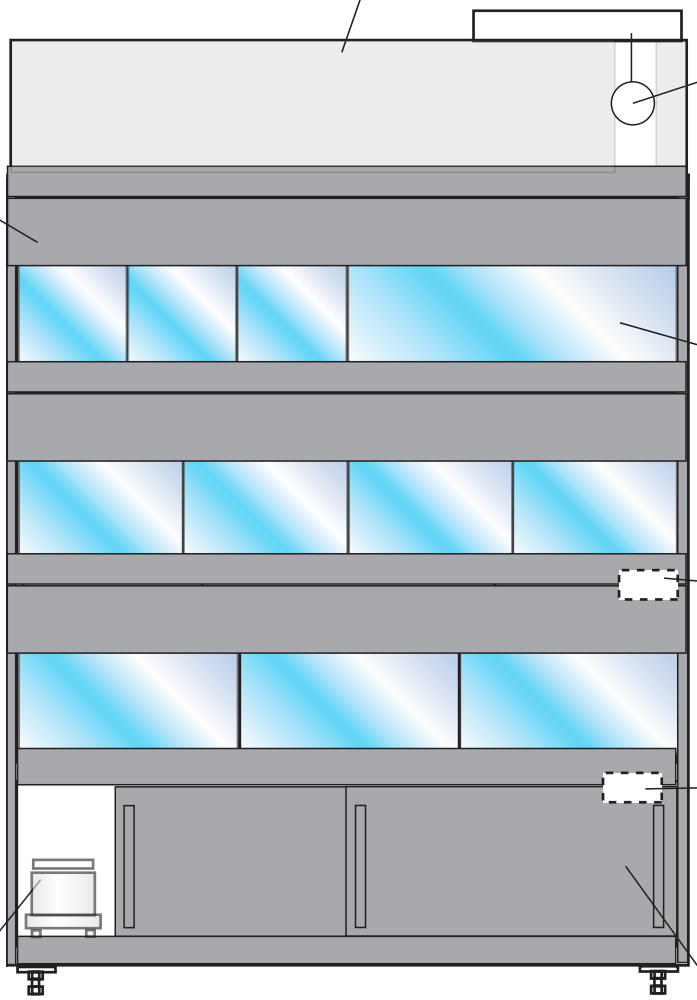
本書は販売什器を取扱う上で、ご担当の方が日々の
管理で活用する為に重要な内容を記載しています。
いつでもすぐに見て確認出来る様に手の届く所に
大切に保管して下さい。

本書裏面には、重大な事故や問題を起こさない為に
特に必要な注意事項を記載しています。
十分に熟知した方も必ずお読みいただき、確認し
理解して頂くようお願いします。

■■■本書の読み方■■■

本書は、基本的に什器の機能別に解説していますが
関連した機能については、重複して解説しています。
まずは、3ページの仕様（システム図）をご覧になり
什器全体のシステムを理解した上で、それぞれの機能に
ついてのページをご覧下さい。
さらに実際の什器と本書を比較し、それぞれの機能や
器機をご確認下さい。

生体什器タイプⅢ（単独/個別什器）各部の名称と機能



貯水タンク
水道水を各水槽へ給水する前に
ここで一時的に貯水して、塩素
を抜いたり加温します。

ボールタップ
水道水を一定水位で
止水します
（※完全止水は出来ません）

跳上扉
魚をすくう時や
メンテナンス時
に開きます

水槽
（販売ケース。各種サイズ有）

什器用照明スイッチ
跳上扉内部

ヒーター回路スイッチ
下段扉内部
新規仕様2004年後期型より
標準装備
※解説参照

ブロアポンプ
空気を送る装置です
貯水タンク上に設置されている場合
もあります。

下段扉
（下段引きちがい扉）

解説

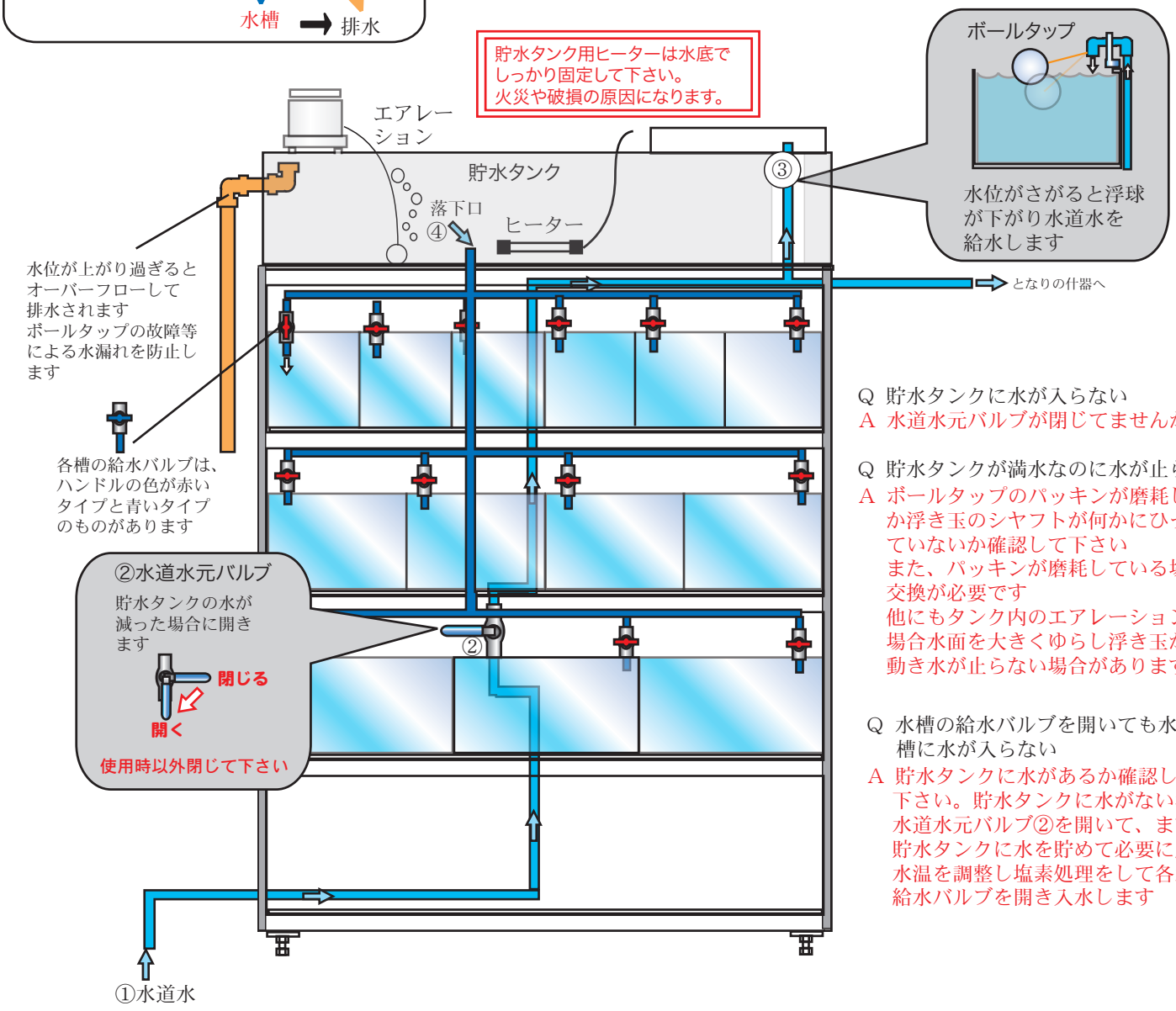
ヒーター回路スイッチ　水槽のメンテナンス時（特に換水時）にヒーターが水中から出て空加熱してしまう場合一時的にヒーターの回路をOFF状態に出来ます。作業後（ヒーターが水中にある状態）ON状態にします

生体什器タイプⅢ（単独/個別什器）給水

このページはここを解説します

水道水 → 貯水タンク
貯水タンク → 水槽
水槽 → 排水

水道水①は**水道水元バルブ**②が開かれ、さらに**貯水タンク**の水が減っている場合③の**ボールタップ**の浮き玉が下がる事で入水されます。
貯水タンクへ入った水道水は、エアレーションにより塩素が抜け、さらに水温が低い場合には、ヒーターで加温され魚に影響の少ない水として貯水されます。
貯水タンクの落下口④から,各段の各水槽へ給水されます。
（！注意：各水槽に給水する為には、各水槽の給水バルブを開きます）



Q 貯水タンクに水が入らない
A 水道水元バルブが閉じてませんか

Q 貯水タンクが満水なのに水が止らない
A ボールタップのパッキンが磨耗しているか浮き玉のシヤフトが何かにひっかかっていないか確認して下さい
また、パッキンが磨耗している場合は交換が必要です
他にもタンク内のエアレーションが強い場合水面を大きくゆらし浮き玉が上下に動き水が止らない場合があります

Q 水槽の給水バルブを開いても水槽に水が入らない
A 貯水タンクに水があるか確認して下さい。貯水タンクに水がない場合水道水元バルブ②を開いて、まずは貯水タンクに水を貯めて必要に応じ水温を調整し塩素処理をして各水槽の給水バルブを開き入水します

解説

水道水元バルブ

水道水元バルブは、特殊な場合を除いて1系列什器全体の貯水タンクボールタップに接続され、タンクへ水道水の入水ON／OFF（開く、閉じる）を行います。

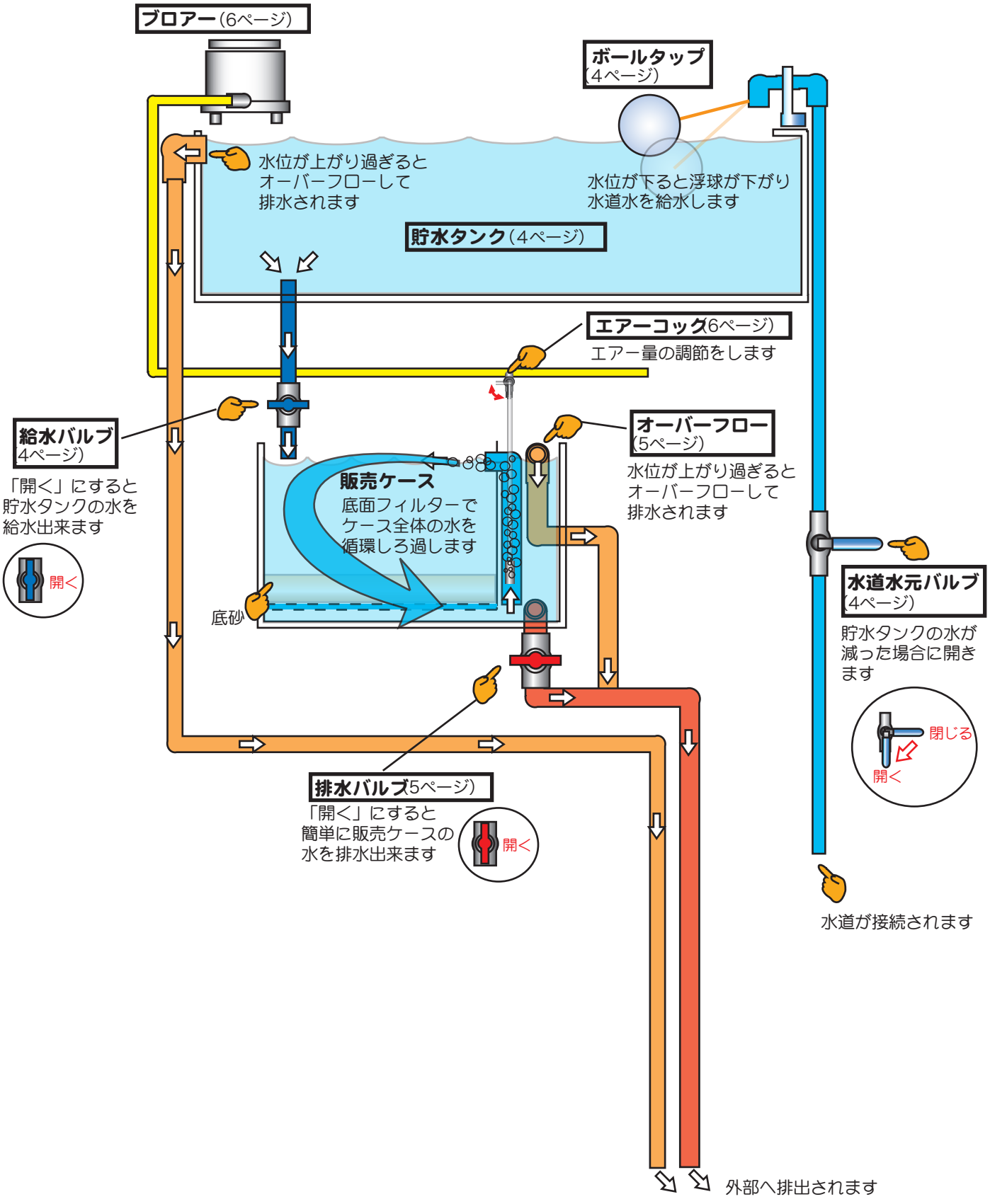
OFF（閉じる）…貯水タンクの水位が規定水位未満の場合でも入水されません。
ON(開く)　…規定水位未満の貯水タンクへ入水されます。規定水位（満水）の場合入水されません。
但し、入水必要時以外は必ず元バルブは、OFF(閉じる）の状態にして下さい。
水漏れ、垂れ流しの原因になります。

貯水タンク

水道水を一時的に貯水し、エアーレーションでカルキを抜いたり、ヒーターで加温し生体に使用可能な水に調整しストックします。この時貯水タンクのヒーター加温部分が常に水中にある状態になっているか、常時点検して下さい。
貯水タンクの破損や、火災等の重大な問題になる可能性があります。

貯水タンクに貯水する水は、生体管理基本の重要な元水です。コケ等が発生しないように管理しましょう。

単独/個別什器システム図



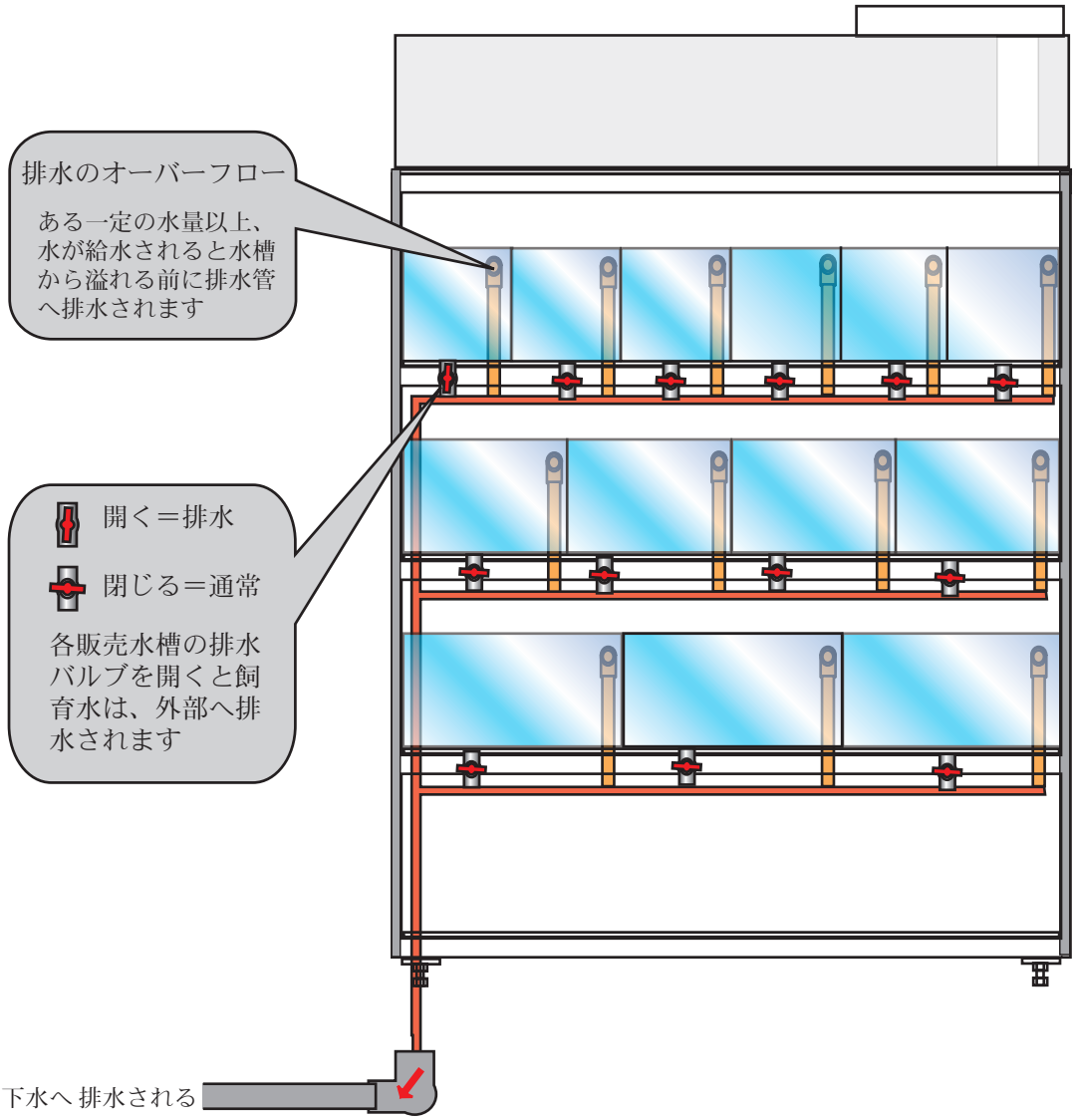
生体什器タイプⅢ（個別什器）排水

このページはここを解説します

水道水 → 貯水タンク

水槽 → 排水

各販売水槽の排水バルブを開くだけで簡単に排水する事が出来ます
また、販売水槽に水を給水（足し水）する場合に水槽から溢れる前に一定水位で排水管へ排水される排水のオーバーフロー機能も大変便利な機能です。



Q 排水バルブを開いても水が流れにくい水槽があります

A 通常、排水管に直接底砂などが流れ込まない様に底砂部と排水口は底面板で、仕切られていますが販売水槽のコーナーパネルが適切にセットされてない場合や底面板がずれている場合には排水管の中に砂等が詰まる事があります。
この場合、コーナーパネルを取り外して排水口に直接ホースを密着させてサイホン式で詰まった砂を吸い取ります。また耐湿掃除機などを利用すると簡単に取り除く事が出来ます
但し、吸い取る時は、必ず、排水バルブは開いた状態で行います。

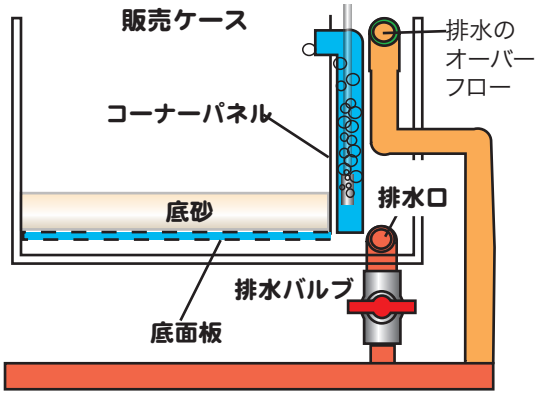
Q 一度に何本まで排水できますか？

A 排水された水が集中して流れる配管の大きさで同時に流せる量が決まりますが、最低でも1什器の1段だけなら同時に排水出来ます

解説

※〈注意〉 排水口に砂やメンテナンス用のウールなどが詰まらない様に水槽の底面板、コーナーパネルは確実にセットして下さい

※（注意） 排水のオーバーフロー機能は大変便利な機能ですが、逆に給水バルブを閉め忘れ、長時間垂れ流しになる場合も考えられますので注意してください



！必ずお読み下さい！

故障や破損（老朽化）の原因になる注意事項

◆販売水槽・ろ過槽・貯水タンクはアクリル製(ガラス製ではありません)です。
下記の製品(薬品)やそれら成分が含まれていると思われる物は絶対に使用しないで下さい。
使用されますと材質であるアクリルと反応し割れたり、クラック現象(ひび割れ)を誘発します。

『アルコール』『溶剤』『シンナー』
一般的に使用されている『クリーナー』『シールはがし』
『粘着材』『粘着テープ』『ポップマーカー』等

◆販売用ラベルやポップのご使用はアクリル部分以外の跳上扉などに行って下さい。
アクリル面の清掃は基本的に水拭きのみでお願いします。

◆集中タイプ什器に装備している循環ポンプは空運転(水なし運転)をさせない様に
ろ過槽の水位に注意して下さい。
また、極端に少ない水量を循環させポンプに負荷を与える様な使用方法は避けて下さい。
(流水調整バルブを極端に閉めて長時間放置する等)

◆什器は常に清潔に保って下さい。特に海水魚什器、塩分を含むシステムの場合は
常に跳ね水、垂れ水は拭き取り清潔に保って下さい。
什器のフレームやその他金属類を著しく腐食させます。

◆水槽を掃除する場合は、柔らかなスポンジやウールを使用し、キズが付かないか確認して
使用して下さい。

重大な問題や事故を引き起こす原因になる注意事項

◆貯水タンク・ろ過槽・販売水槽等のヒーターは必ず水中にある状態でご使用下さい。
ケースに必要な水量を確保しているか毎日点検して下さい。
火災などの大きな問題や事故を発生させる原因になります。

◆給水元バルブは必要時以外は閉めるよう徹底して下さい。貯水タンクの一定水位で自動
給水させるボールタップも長期間使用する間に止水弁(パッキン)のゆるみ、また止水
弁駆動シャフトの老朽化により〝垂れ流し〟や〝水漏れ〟事故の原因になります。

◆什器は常に清潔に保って下さい。特に海水魚什器、塩分を含むシステムの場合は常に跳ね水
垂れ水は拭き取って下さい。什器に装備された電気配線が湿った状態になると漏電や火災の
原因になります。水分以外にも配線(コンセント)部分にホコリ等がたまると同様の現象を
引き起こす原因になりますので十分に注意して下さい。

◆本什器の改造等は絶対にしないで下さい。
従来の使用方法以外でのご使用は予期せぬ重大な問題や事故を引き起こす原因になりますので
絶対にしないで下さい。

製造元：株式会社プラックス

点検管理/個別什器

	項　目	内　容	参照ページ
毎日の点検管理	給　水	貯水タンクやろ過槽に規定水位の水があるか点検します 水道水元バルブは使用時以外、『閉める』になっているか確認します。	4
	水　温	水温は、設定通りの水温になっているか確認します。 ヒーターの装着不備がないか点検します。破損や火災の原因になる場合がありますので十分に注意してください。	
	底面フィルター	販売水槽内の底面フィルターのエアーは正常に作動しているか点検します。	6
	水漏れ	エアーチューブが外れていたり、販売ケースフタの装着不備、給水パイプの外れ等による水漏れがないか点検します。	
定期的な点検管理	ブロアー	1ヵ月毎にエアーブロアの入気口フィルターマットの汚れを取り除き、エアーコックに汚れが詰まらないようにします。 1年に一度、エアーブロアのダイヤフラムを交換します。（※ブロアーダイアフラムは消耗品です） エアーの量が極端に少ない場合や出なくなった場合は、1年未満でも交換が必要になる場合があります。但し、頻繁にダイヤフラムの交換が必要になる場合、他の原因が考えられますので一度、ご相談下さい。	6
	エアー配管	3ヵ月程度で底面フィルター内のエアーストーンは新しいものと交換するか漂白洗浄します。 また、エアーコック内が詰まってエアーが出にくい場合は針金等でつついて取り除きます。	6
	底面フィルター	4～6ヵ月毎に、底砂と底面板を取り出し、水槽底部に付着した汚れを取り除いて下さい。こぼれた底砂や大きなゴミ等はネット網で直接すくい取って下さい。一度に全ての水槽を掃除するのは大変なので、魚が少なくなった所や完売した所から行います。	5～6